

決算の主要特徴点

◆ 当連結会計年度の第3四半期連結累計期間は、世界の新型コロナウイルス新規感染者数は概ね横ばい圏内で推移し、景気回復が進んだ。一方、足元ではオミクロン株などの感染が再拡大しており、グローバルな需給ひっ迫の長期化とインフレの進行、更にはFRBをはじめとする各国中銀の金融引き締めによる今後の新興国からの資本流出に起因した通貨下落など、市場への影響には引き続き注視していく必要がある。

当第3四半期の当社グループの業績は、石炭、貴金属価格の上昇による金属・資源・リサイクルでの増収に加え、合成樹脂取引の増加、メタノール価格の上昇による化学での増収、海外自動車事業での販売台数増加による自動車での増収などにより、収益は前年同期比増収となった。
販管費及びその他の費用の増加があったものの、売上総利益の増益に加え、鉄鋼事業会社の増益などによる持分法による投資損益の増加などにより、当期純利益(当社株主帰属)は前年同期比増益となった。

(括弧内は前年同期比増減)
収益 15,486 億円 (+3,889 億円 / +33.5%)
・ 石炭価格の上昇、貴金属の価格上昇及び取引増加による金属・資源・リサイクルでの増収
・ 合成樹脂取引の増加、メタノール価格の上昇による化学での増収
・ 海外自動車事業での販売台数増加による自動車での増収

売上総利益 1,907 億円 (+582 億円 / +43.9%)
・ 石炭価格の上昇による金属・資源・リサイクルでの増益
・ メタノール価格の上昇、合成樹脂取引の増加による化学での増益
・ 海外自動車事業での販売台数増加による自動車での増益

当期純利益（当社株主帰属） 620 億円 (+453 億円 / +271.0%)
・ 売上総利益の増益
・ 持分法による投資損益の増加

◆ 2022年3月期 通期業績見通し
通期の業績見通しを以下の通り修正
21/11/2見通し 22/2/2見通し
売上総利益 2,400億円 ⇒ 2,600億円
税引前利益 950億円 ⇒ 1,080億円
当期純利益（当社株主帰属） 700億円 ⇒ 800億円

(期初前提条件)
為替レート（年平均 円/US\$） : 108

◆ 2022年3月期 配当
期末配当（予定）を1株当たり45円00銭から58円00銭に修正
中間配当 : 9 円 00 銭
期末配当(予定) : 58 円 00 銭

2021年10月1日付で、株式併合(普通株式5株を1株に併合)を実施致しました。
なお、1株当たり中間配当は、株式併合を考慮した場合、45円となります。

(※1) 基礎的収益力＝売上総利益－販管費(貸倒引当金繰入・貸倒償却を除く)
＋金利収支＋受取配当金＋持分法による投資損益

(※2) 基礎的営業キャッシュ・フロー＝会計上の営業CFから運転資金増減を控除したもの

(※3) 基礎的キャッシュ・フロー＝基礎的営業キャッシュ・フロー＋調整後投資CF－支払配当金－自己株式取得
(調整後投資CF＝会計上の投資CFに長期性の営業資産等の増減を調整したもの)

(注) 将来情報に関するご注意
本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、新型コロナウイルス感染症の収束時期や、内外主要市場の経済環境、為替相場の変動など様々な要因により、大きく変動する可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。

要約連結純損益計算書

(単位：億円)						通期見通し(修正)	
	当第3四半期			前年同期		22/3期	進捗率
	実績 a	上半期	第3 四半期	実績 b	増減 a-b	c	a/c
収益	15,486	10,007	5,479	11,597	3,889		
売上総利益	1,907	1,177	730	1,325	582	2,600	73%
販売費及び一般管理費	-745	-477	-268	-703	-42		
その他の収益・費用	-1	4	-5	-5	4		
金融収益・費用	53	32	21	42	11		
持分法による投資損益	254	169	85	79	175	340	
税引前利益	850	525	325	241	609	1,080	79%
法人所得税費用	-199	-110	-89	-54	-145	-250	
当期純利益	651	415	236	187	464	830	78%
当期純利益の帰属；	620	394	226	167	453	800	78%
非支配持分	31	21	10	20	11	30	

基礎的収益力（※1）	879	511	368	182	697	1,150
------------	-----	-----	-----	-----	-----	-------

要約包括利益計算書

(単位：億円)					
	当第3四半期			前年同期	
	実績 a	上半期	第3 四半期	実績 b	増減 a-b
当期純利益	651	415	236	187	464
その他の包括利益	282	192	90	39	243
当期包括利益合計	933	607	326	226	707
当期包括利益の帰属；					
当社株主	890	583	307	207	683
非支配持分	43	24	19	19	24

キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)				
	当第3 四半期 実績 a	前年 同期 実績 b	増減 a-b	左記○部分の主な内容
	a	b	a-b	
営業活動によるC F	422	815	-393	営業収入及び配当による収入
投資活動によるC F	-1,042	-202	-840	航空機関連取引及び投資の取得による支出
(フリーC F合計)	(-620)	(613)	(-1,233)	
財務活動によるC F	63	-696	759	新規借入による収入及び配当金支払と自己株式取得による支出
基礎的営業C F(※2)	813	392	421	
基礎的C F(※3)	-89	52	-141	

要約連結財政状態計算書

(単位：億円)				左記○部分の主な内容
	21/12末 残高 d	21/3末 残高 e	増減 d-e	
流動資産	12,879	11,954	925	
現金及び現金同等物	2,336	2,876	-540	
定期預金	154	101	53	
営業債権及びその他の債権	7,212	6,362	850	化学、煙草の増加
棚卸資産	2,254	1,879	375	化学、販売用不動産の増加
その他	923	736	187	
非流動資産	12,213	11,047	1,166	
有形固定資産	1,948	1,913	35	
リース資産（使用权資産）	670	728	-58	
のれん	845	672	173	
無形資産	644	615	29	
投資不動産	133	116	17	
持分法投資及びその他の投資	6,294	5,908	386	新規取得に伴う増加、持分法投資損益の積み上げ
その他	1,679	1,095	584	航空機関連取引による増加
資産合計	25,092	23,001	2,091	
流動負債	7,968	7,348	620	
営業債務及びその他の債務	5,435	4,760	675	煙草、化学の増加
リース負債	153	168	-15	
社債及び借入金	1,393	1,586	-193	
その他	987	834	153	
非流動負債	10,034	9,108	926	
リース負債	568	605	-37	
社債及び借入金	8,351	7,497	854	新規調達による増加
退職給付に係る負債	220	219	1	
その他	895	787	108	
負債合計	18,002	16,456	1,546	
資本金	1,603	1,603	-	
資本剰余金	1,470	1,468	2	
自己株式	-309	-159	-150	自己株式の取得
その他の資本の構成要素	1,030	778	252	為替、株価の変動による増加
利益剰余金	2,953	2,500	453	当期純利益(+620)、配当支払(-164)
(当社株主に帰属する持分)	(6,747)	(6,190)	(557)	
非支配持分	343	355	-12	
資本合計	7,090	6,545	545	
負債及び資本合計	25,092	23,001	2,091	

GROSS有利子負債（※4）	9,744	9,083	+661	(※4)GROSS有利子負債、NET有利子負債の計算に
NET有利子負債（※4）	7,254	6,106	+1,148	は、「リース負債(流動・非流動)」を含めておりません。
NET負債倍率（※5）	1.08倍	0.99倍	+0.09倍	(※5)NET負債倍率の分母及び自己資本比率の分子
自己資本比率（※5）	26.9%	26.9%	0.0%	には、自己資本として「当社株主に帰属する持分」を
流動比率	161.6%	162.7%	-1.1%	使用しております。
長期調達比率	85.7%	82.5%	+3.2%	